

-을/를 뒤로하고

～を後にして

その場や状況を離れることを描く文語です。日本語の「を後にして」とほぼ同じです。

■ つけ方

語末	形	例
パッチムあり	을 뒤로하고	고향을 뒤로하고
パッチムなし	를 뒤로하고	환호를 뒤로하고
よく使う語	고향・환호・아쉬움	離れる対象
後ろ	出發・移動	떠났다・향했다
続けて書く	뒤로하다 是一語	뒤로하고 (뒤로 하고 △)
原義	뒤로 하다	後ろにする

■ 使い方と注意

その場を離れることを描きます。정든 고향을 뒤로하고 길을 떠났다 (慣れ親しんだ故郷を後にして旅立った)。

感傷を伴う描写です。単に「離れた」ではなく、名残惜しさや決意を含みます。日本語の「を後にして」と同じ情感です。

後ろには出發や移動が来ます。떠나다, 향하다, 나서다 など。

抽象的なものにも使えます。아쉬움을 뒤로하고 (名残惜しさを後にして)、환호를 뒤로하고 (歓声を後にして)。

■ 例文

- 1 그는 고향을 뒤로하고 서울로 떠났다.
彼は故郷を後にして、ソウルへ発ちました。
- 2 아쉬움을 뒤로하고 발길을 돌렸습니다.
名残惜しさを後にして、足を返しました。
- 3 오랜 무대를 뒤로하고 은퇴를 선언했다.
長い舞台を後にして、引退を宣言しました。
- 4 미련을 뒤로한 채 문을 닫았다.
未練を後にしたまま、店を閉めました。
- 5 손수 만들던 공방을 뒤로하고 도시로 나왔다.
手ずから作っていた工房を後にして、都会に出ました。
- 6 환호를 뒤로하고 선수들이 경기장을 빠져나갔다.
歓声を後にして、選手たちが競技場を出ていきました。

■ 紛らわしいもの

- 을/를 떠나**
「を離れて」で単純な移動です。뒤로하고 は感傷を伴います。
고향을 떠나 (移動) / 고향을 뒤로하고 (感傷)
- 을/를 뒤에 두고**
「を後ろに置いて」でほぼ同じ意味です。
고향을 뒤에 두고
- 을/를 위시하여**
「をはじめとして」で列挙です。まったく別の働きです。
회장을 위시하여

■ まちがえやすい点

- ✕ 가를 뒤로하고**
○ 명사에만 붙습니다
動詞には使えません。
- ✕ 고향 뒤로하고**
○ 고향을 뒤로하고
을/를 が必要です。
- ✕ 친구야, 집을 뒤로하고 나왔어.**
○ 친구야, 집에서 나왔어.
日常会話では使いません。